

2022年度 「LVAD 在宅管理に関するアンケート調査研究事業」公募要領

2023年1月吉日
一般社団法人日本循環器協会

1. 事業の概要

左室補助人工心臓（Left Ventricular Assist Device, LVAD）は、重症心不全患者の治療において不可欠なデバイスの一つである。しかしながら、LVADを植込んだ後の在宅管理において、患者は24時間体制で家族からのサポートを得られなければならず、患者・家族の生活に大きな制限を加えるものとなっている。また、LVAD植込み後の訪問診療が月1回の算定しか行うことができず、心不全管理のための十分な訪問診療を受けることも困難な現状となっている。そこで本事業は、LVAD治療を受けている患者・家族を対象に日本全国多施設でのアンケート調査研究を実施し、LVAD在宅管理の医療体制に対する患者・家族の視点からの意見を拾い上げることで、LVAD在宅管理における最善の医療体制について検討することを目的としている。

2. 公募事業

公募事業名： 「LVAD 在宅管理に関するアンケート調査研究事業」
LVAD在宅管理に対する患者・家族の意見を拾い上げるアンケート調査研究の支援
新規採択件数： 0~1件

3. 応募資格者

本事業の応募資格者は、以下の要件を満たす個人、あるいは法人・団体とする。

- (1) 医療従事者あるいは医療産業事業者、またはそれに準ずる産業従事者。
- (2) (1)の活動を支援する法人(NPO・財団法人など)

4. 応募にあたっての留意事項

- (1) 応募は1団体（個人）1応募とする。複数名もしくは複数の法人・団体からの共同での応募を歓迎する。
- (2) 本事業の審査には事業内容そのものに加え、以下の点が含まれる
 1. 事業が採択された際、適切な実施体制を構築し一定期間継続可能であるかどうか。
 2. 日本循環器協会における外部団体・個人との連携の基準および該当業界団体におけるプロモーションコード等からの逸脱がないか。

3. 提案事業内容自体に特定の薬剤や医療機器および疾患の中のごく限られた病態などに偏りがなく、応募趣旨を反映した公共性の高いものであるかどうか。
- (3) 採択後は企画段階から日本循環器協会のワーキンググループおよび協会が推薦した個人・団体とともに共同で事業を推進すること。
- (4) 必要に応じて日本循環器協会よりヒアリングを実施する場合がある。
- (5) 審査にあたっては日本循環器協会の会員および賛助会員からの応募を優先する場合がある。

5. 応募手続き

申請書は募集案内ページよりダウンロードし、記入後は PDF ファイルとしてメールに添付して提出すること。

受付期間：2023年1月9日（月）～2023年1月13日（金）

書類提出先：jca-office@j-circ-assoc.or.jp

6. 選考の方法

本協会の担当ワーキンググループにおいて審査・選考し、2023年1月中旬に決定予定。

7. 採否の通知

採否決定後、事務局から申請者あてにメールにて採否を通知する。

8. 問い合わせ先

日本循環器協会東大事務局 担当：原田

E-mail: jca-office@j-circ-assoc.or.jp

〒113-8655 東京都文京区本郷7丁目3-1